

杉並区地域公共交通活性化協議会
令和 7 年 8 月 27 日
都市整備部 交通企画担当

自転車ネットワーク路線の再構築及び 区独自のドライバー向け路面標示の実証実験について

自転車ネットワーク路線の再構築等の進捗状況について、以下のとおり報告します。

1 自転車ネットワーク路線の再構築について

自転車利用環境の安全性及び快適性の一層の向上を図るため、区民、学識経験者及び区内警察署等に意見聴取を行った上で、現在、駅周辺等を中心に整備している自転車ネットワーク路線を区内全域に拡大する自転車ネットワーク路線の再構築を行いました。

(1) 新規路線延長

【現行路線】



区道延長：53.7km

■ 整備済：40.7km（R 6 年度末）

■ 未整備：13.0km

【新規路線】



区道延長：55.0km（追加分）

総延長（現行路線含む）：108.7km

■ 新規ネットワーク路線

■ 現行ネットワーク路線

■ 国道・都道

<自転車ナビマーク>



<自転車ナビライン>



(2) 今後のスケジュール（予定）

令和 7 年度 現行路線の整備

令和 8 年度～ 現行路線及び新規路線の整備

2 区独自のドライバー向け路面標示の実証実験について

クルマのドライバーに対して、道路を通行している自転車の側方を進行する際に十分な間隔の確保又は低い速度による進行等を促すため、路面標示を設置し、その有効性を検証する実証実験を行います。

(1) 実験概要

①検証内容

路面標示の整備前後におけるクルマの走行速度や自転車との間隔の変化を確認する。

②実験方法

- ・区独自にデザインした法定外の路面標示を区道上の左端に設置する。
※実験終了後、観測機器および路面標示は撤去する。
- ・区が管理するカーブミラー等にレーザーを用いた観測機器を設置し、自転車及びクルマの走行状況を記録する。 ※観測機器では個人を特定できる情報は収集しない。

③実施場所



<神明通り>



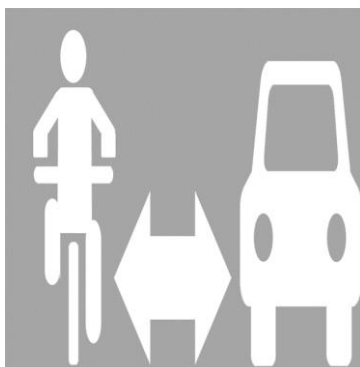
<永福町駅北口商店街通り>

(2) 協働実施

本実験の趣旨に賛同を得た東海大学との契約に基づき、同大学との協働で実施する。

(3) 路面標示

道路に貼付け可能なステッカータイプの製品にピクトグラムを印刷し、クルマのドライバーから視認しやすい寸法とする。



<路面標示イメージ>



<設置イメージ>

(4) 今後のスケジュール (予定)

令和7年9月	実証実験の周知
10月	実証実験実施 (各路線1~2週間程度)
11月~	記録データ集計・分析 (東海大学で実施)
令和8年3月	まとめ